

活動事例②

市職員と共に炊き出し訓練などを実施

双葉親睦会では、会員を対象にした防災訓練を今年7月に双葉会館で実施しました。

防災訓練では、双葉親睦会の会員12人が参加し、炊き出しやAED（自動体外式除細動器）の操作などについて

知識を深めました。

特に炊き出し訓練では、会員たちが市職員からアルファ化米（乾燥米飯）の調理方法などの手ほどきを受けながら、実際に炊き出しの手順を確認しました。



▲市職員（写真中央）と共に炊き出し訓練を行う双葉親睦会の会員

自主防災組織づくりを進めるために

▼自主防災組織づくりを進めるためには、皆さんの地域でできる活動について話し合い、できることから取り組むことが大切です。まずは順番に始めましょう。

- (1) 防災連絡員を市役所に登録する
- (2) 町内会・自治会の連絡網を作成する
- (3) 地域の危険箇所を確認する
- (4) 地域の避難場所を確認する
- (5) 防災について話し合う（「お茶の間トーク」の活用など）



【組織の結成が難しい場合は】

市では、「お茶の間トーク」を通じて町内会などに伺い、防災や自主防災組織などに関して説明しています。「お茶の間トーク」については、下記へお問い合わせください。

問 市・政策調整課 ☎ 42-1809

9月1日は「防災の日」・防災関連事業のお知らせ

留萌市市民防災訓練

▼市では、「留萌市市民防災訓練」を下記の日時に実施します。ぜひ訓練にご参加ください。なお、詳細については、各町内会・自治会にお知らせします。

日 9月3日(日) 9:00～

所 緑丘小学校体育館ほか

内 避難訓練や避難所体験など

【北海道の取り組み】北海道シェイクアウト

▼シェイクアウトは、大地震から身を守るため、参加者が日時に合わせて一斉に行う防災訓練です。職場や家庭で手軽に参加することができ、個人でも参加可能です。下記の日時に合わせ、各自で訓練を実施してください。

日 9月1日(金) 10:00～(1分間)

内 ①姿勢を低くする ②頭を守る

③そのまま1分間じっとする

災害の被害を最小限にするためには、日ごろからの心構えと準備が大切です。自主防災組織や市民防災訓練などに参加し、いざというときに備えて防災意識を高めましょう。

特集



自主防災組織で 災害に備えよう！

地震や津波などの災害の発生に備えて自主防災組織を結成し、安心で安全な地域づくりを進めましょう。

問 市・総務課 ☎ 56-5005

自主防災組織を結成しましょう

▼自主防災組織は、住民一人ひとりが「自分の命は自分で守る（自助）」「自分たちの地域は自分たちで守る（共助）」という考えの下に結成し、災害に備えて防災活動や避難訓練などに取り組む任意団体です。

町内会などの組織を生かして結成することが一般的ですが、複数の町内会や自治会で連携したり、小学校の校区単位で組織を結成する場合があります。

災害が発生した場合には、地域住民が互いに協力し合い、助け合うことがとても大切です。



自主防災組織の活動例

▼市内では近年、町内会・自治会で自主防災組織を結成し、災害に備えて防災活動や避難訓練などに取り組む地域が広がっています。

各町内会・自治会の自主防災組織では、連絡網の作成や避難場所の確認などに取り組む

とともに、会員を対象にした防災講習会や避難訓練などを実施して地域防災力の向上を図っています。

ここでは、市内の町内会・自治会が実際に行った活動事例を紹介します。

活動事例①

避難路の危険箇所などを歩いて確認

福広会では、避難路の危険箇所などを確認することを目的とした防災講習会を昨年9月に開催しました。

防災講習会では、福広会の会員15人のほか、派遣講師として市と留萌振興局の防災担当職員が参加し、3グルー

プに分かれて地域を歩き、避難路付近にある商店の看板や倒壊のおそれがある家屋、避難場所までにかかる時間などを調査しました。

調査後は、各グループが順に調査結果を発表し、互いの情報を共有しました。



▲防災講習会に参加する福広会の会員